

リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

L

【率いる】
Leading

高付加価値製品で QOLの向上に貢献

第一三共グループの中では唯一BtoC事業を展開する第一三共ヘルスケア。OTC医薬品(市販薬)、スキンケア製品、オーラルケア製品など多彩な商品ラインナップを抱える。西井良樹社長は第一三共で長く医療用医薬品に携わった。MR(医薬品の品質や安全性に関する情報を医療従事者に提供する営業担当者)としても活躍した。

「大学病院のMRをしていた時に、担当の医師から『あなたに動いてもらった薬のおかげで白血病のお子さんの命を救うことができた』と言われ、製薬会社に働く喜びを実感しました。あの言葉はずっと胸にあります。キャリアの中で最も多く関わった製品は、1986年に発売した消炎鎮痛薬『ロキソニン』。BtoC事業を担う第一三共ヘルスケアに異動後、『ロキソニン』のスイッチOTC化にも携わり、『ロキソニンS』の市販開始を店頭で見届けました」

近年、OTC医薬品への期待やニーズが高まっている。超高齢時代に向けた医療費の適正化が社会的な課題となる中、OTC医薬品の購入費用が一定の条件を満たせば対象となる「セルフメディケーション税制(医療費控除の特例)」が昨年スタートしたことも背景にある。

「軽い症状であれば市販の医薬品を利用するなどして、自分で健康管理や疾病予防を行う『セルフメディケーション』を、国や業界全体で推進しています。啓発活動とともに、セルフメディケーションに寄与する製品を生み続けることが当社の使命だと考えています」

オーラルケアやスキンケアを強化

第一三共ヘルスケアは、製薬4社のBtoC事業が2007年に統合してスタートした。「各社に新薬系のバックボーンがあるので、オリジナルの成分から新たな作用を発見したり、スイッチOTC化したりと市場創造型の商品を提供できる。安全性や有効性のエビデンスもしっかり取っている。これが大きな強み」と西井社長。近年はオーラルケア製品やスキンケア製品にも力を入れている。

「オーラルケア製品はセルフメディケーションの観点からも重要です。歯周病の影響は口腔内にとどまらず、全身に及ぶことが指摘されています。当社が貢献できることは多いと考えています」

スキンケア製品の看板商品「ミノン」は、敏感肌・乾燥肌向け固形せっけんとして1973年に誕生。液体ソープやヘアケア製品など派生製品も多く生まれた。基礎化粧品「ミノン アミノモイスト」シリーズはインバウンド需要も急伸。

また、新しい販売チャネルとして、通販や海外を拡充するなど、成長戦略を描いている。

「当社の理念は、生活者満足度の高い製品・サービスを継続的に生み出し、より健康で美しくありたい人々のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上に貢献すること。社員のQOLの向上から徹底し、お客様の声や現場の声に耳を傾け、社員自ら考え先へ先へと行動する組織づくりに努め、理念の実現を追求しています」

■朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、西井良樹さんが語るリーダー論を紹介しています。
<https://adv.asahi.com/> 朝日新聞 広告 検索

本連載「リーダーたちの本棚」が書籍化されました
『私をリーダーに導いた250冊』好評発売中
朝日新聞出版 ISBN 978-4-02-331547-1 本体価格 1500円+税



1955年大阪府生まれ。78年岡山大学農学部卒。同年三共(現・第一三共)入社。営業職を経て、同ヘルスケア製品戦略部長。2006年第一三共ヘルスケア製品戦略部長。取締役営業本部長を経て12年4月から現職。

西井良樹 さん

第三共ヘルスケア 代表取締役社長

西井良樹さんのおすすめ本棚

- 『沈黙の春』(新潮文庫) レイチェル・カーソン著 青樹隆一訳
海洋生物学者の著者が、農業など化学物質による、人や動物の健康被害、土壌汚染や水質汚染などを告発。1962年に発表され、環境運動の端緒となった一冊。
- 『わしの眼は十年先が見える 大原孫三郎の生涯』(新潮文庫) 城山三郎著
地方の一助産婦社を有数の大企業に伸ばした経営者の道と、社会から得た財はすべて社会に返すという信念の道。夢を見続けた男の人間形成の足跡をたどる。
- 『人の上に立つ人の 仕事の(実例)「危機管理」術』(三笠書房) 佐々淳行著
判断ミスを防ぐには何をすべきか。「陣頭指揮」をとる時には何が必要か、どんな困難な仕事においても通用する危機管理術の重要ポイントを紹介。
- 『炭素文明論「元素の王者」が歴史を動かす』(新潮選書) 佐藤健太郎著
人類は地上にわずかに存在しない炭素をめぐり争奪戦を展開してきた。エネルギー危機が迫る中、新たな「炭素戦争」が勃発する。勝敗の鍵を握るのは……?
- 『凡人の強み 正しい努力だけが人間を磨く』(ワニ文庫) 野村克也著
苦勞とともに生き、野球選手として、また監督として確かな実績を残した著者が、「凡人」だからできたという、その「正しい努力」の方法を語る。

R

【読む】
Reading

製薬会社のあり方を良書に学ぶ

大学時代に影響を受けた書 ビジネスの場で思い返す

大阪で生まれ、岡山大学の農学部で学びました。この頃は、「自然発生説の検討」「昆虫学への招待」(ともに岩波書店)など、サイエンスの本を読むことが多かったですね。研究面で影響を受けたのは、『沈黙の春』。農業や化学薬品

による自然破壊に警鐘を鳴らした名著です。岡山周辺は瀬戸内海に面した白砂青松の地として知られますが、私が学んだ頃は海岸線の松が松食い虫の被害で褐色に変化し、その上無差別な農薬散布が行われていました。これに反対する社会運動が広がり、私も問題意識を持ったのです。卒論のテーマは、松枯れの原因となる線虫を植物由来の成分で退治できないかという内容でした。三共

(現・第一三共)を就職先に選んだのは、入社当時、医薬品だけでなく農業も扱っていたからです。配属先は、医療用医薬品の営業部門で、後にヘルスケア事業の製品戦略部門に移りました。製品戦略部門では、新しい技術を探求して製品化への道筋をつける仕事に当たり、酒造メーカーが開発した成分を活用した保湿クリームを導入しました。提携した香川県にある「勇心酒造」は、森羅万象に「生かされている」という哲学のもと、日本酒醸造の発酵技術を活用して微生物の持つ力を引き出す研究をしています。その哲学に触れ、『沈黙の春』の内容を思い起こしました。本書は製薬会社の基本行動のバイブルであり、現在注目されるESGやSDGsの考え方に通じるものだと思います。

「わしの眼は十年先が見える 大原孫三郎の生涯」は、大学時代に何度も訪れた大原美術館の設立者、大原孫三郎さんの伝記です。大学病院の営業をしていた38歳の時に読み、大原さんの誇りある生き方に感銘を受けました。社員の労働環境の改善に努めるなど人中心の経営を実践し、企業経営の傍ら病院や孤児院、学校や農業研究所などの設立に貢献した大原さん。バブル期における一過性のメセナと違い、その遺産は今も活用され続けています。書名になった「わしの眼は十年

先が見える」という言葉が口癖だったそうですが、「百年先」と言い換えても嘘にならない方だと思います。城山三郎の筆によるビジネス小説に共感しました。

あこがれの人物に会い 著書を手取る

「人の上に立つ人の仕事の(実例)「危機管理」術」は、46歳の時に一度読み、社長になってから読み返しました。生命関連製品を扱う企業にとって危機管理は重要な課題。本書は危機管理における「報・連・相」のポイントを的確に指摘します。責任ある人物への「念のため報告」や、緊急時は些細な情報でも迅速に伝える「抽速報告」。情報をアクティブに取りに行く姿勢や、「報告がやらずに誰がやる」という気構え。報告する側も、大変参考になりました。

「炭素文明論「元素の王者」が歴史を動かす」は、書店でピンときた一冊です。地上にわずかに0.08%しか存在しない炭素は、食品、衣料品、医薬品、化粧品など様々な「炭素化合物」を生む元素で、人類史は炭素の争奪戦の歴史である。と書いています。そして、エネルギーの確保、食糧の増産、省資源化、医薬の発展といった人類の課題において、炭素の重要性は今後さらに増すであろうと締めくくります。著者は製薬会社の研究者。製薬はまさに炭素化合物を扱う産業であることから、興味深く読みました。

かれこれ5年前、子供時代にあこがれたヒーローに遭遇しました。南海ホークスの大ファンだった私は、幼い頃父親に連れられて大阪球場によく足を運んだものです。当時の4番はキャッチャーの野村克也さん。そのご本人に遭遇したのです。同伴者がたまたま野村さんと顔見知りだったことから、しばしお話しする機会に恵まれました。当時の監督や選手の名前を私が次々に挙げるので「あなた何歳や」と驚かれました(笑)。そんなこともあって野村さんの著書「凡人の強み 正しい努力だけが人間を磨く」を読みました。苦勞をすること、培われた「思考」「感性」「勇気」が野村さんの原点であり、これを磨き、人に伝えるために言葉も磨かなければならないと書いています。「功ある者よ、功なき者を集めよ」という言葉も印象的でした。誰もが華々しい「功」を求め、地味な働きの「功なき者」に意欲を持って取り組むよう、自分の役割の大切さを説き、評価をせよと。他にも、「組織が人を成長させ、人が組織を成長させる」「組織強化にはビジョンの共有が必要」といった含蓄のある言葉が並びます。野球ファンにはたまらない実例を交えた説得力のある内容で、人生論、組織論、リーダー論としても読みこたえがありました。(誠)

三笠書房

知的生きかた文庫

小さな悟り

A Zen Approach to Little Enlightenment

人生には「小さな答え」があればいい

ホトとする考え方、ハツとする気づき

発売即 大重版 出来!

ISBN 978-4-8379-8542-6 ●定価(本体630円+税)

千代田区飯田橋3-3-1
●詳細は⇒<http://www.mikasashobo.co.jp>
●(株)ブックライナー(フリーダイヤル)0120-398899 (9:30~19:00)からもご購入いただけます。

100歳まで楽しく実践! 1日1つの終いじたく

人生は手放した数だけ豊かになる

朝日新聞「天声人語」(2018/3/30)で「新たな片づけ術」として紹介

最新刊

人生は手放した数だけ豊かになる

スウェーデンからやってきて 世界中で話題の終活術!!

「DEATH CLEANING」は、自分を大切に片づける方法。これが今、日本人に絶対必要です。 — 下重暁子

ISBN 978-4-8379-5790-4 ●定価(本体1400円+税)

図解カラー

血管を鍛えると超健康になる!

脳梗塞、心筋梗塞……「突然死」を予防する!

池谷敏郎 医学博士

本体価格 640円 +税

A5判

テレビでおなじみ、血管の名医の新提案!

7万部突破!!

1位

有隣堂 藤沢店 実用書部門 (615-622)

ISBN 978-4-8379-2267-7

大ベストセラー 『超一流の雑談力』の著者、最新作!

できる人は必ず持っている

一流の気くばり力

安田 正

ちょっとしたことが、圧倒的な差になっていく。

6万部突破!

「お礼の言葉」のタイミングを逃さない
「差し入れ上手」は必ず好かれる
さりげなく「ねぎらいの気持ち」を示す
「言いにくいこと」の賢い伝え方
ひそかにリスペクトを集める人は「超・謙虚」

「気がきくなあ!」と思わせる、カンタンにして絶妙なコツ

ISBN 978-4-8379-2734-1 ●定価(本体1400円+税)